



# 鈴鹿の風

2017.1

第29号



第70回国立病院総合医学学会にて(沖縄県) 写真:小長谷正明 病院長

## 病院理念

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。



# 明けまして お目出とう ございます。



独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院長

こなが や まさあき  
小長谷 正明

毎年々々、年の初めにこの言葉を言いながら、今年はどういう事があるのだろうか、どういふ事ができるのだろうかと思ってきました。年初の張り切りの割には尻つぼみだった時もありますが、じっと堪え抜いて花を咲かせた年もありました。そして、何年か積み重ねて行くと、病棟は綺麗になり、医療機器が充実し、電子カルテの導入で院内の体制が様々に近代化しと、21世紀の療養の場にふさわしい病院に変わって来ています。

きっとこれからも、今までの施設整備や病床の拡大を踏まえて、さらに病院の機能や医療内容の充実に向けての足並みを進めて行きたいと思えます。人口の高齢化に伴い、難病の患者さんが増え、介護する親の老齢化で家庭療養困難化も問題になってきています。この病院は、社会のセイフティ・ネットとして、そのような筋ジスを含む神経難病や重症心身障害(児)者の拠り所として機能しており、これからもそうあり続けなければいけません。

しかし、そのような、セイフティ・ネット医療の病院であっても、政策医療だとして甘えてはいけません。世の中のニーズに沿い、恒にアップ・デイトされた医療内容の提供をしていくにはどうしたらいいかは元より、厳しくなっている医療経済的な動きを踏まえて、どうすればよいかを、病院も職員も考えなければいけないことです。

一方で、医療の技術や考え方も日進月歩で進化しています。医療機器も次々と新しいものが登場してきます。かつてはDNAが分かっても、遺伝子治療は夢のまた夢と思われていましたが、デュシェンヌ型筋ジストロフィーへの遺伝子治療が、昨年9月にはアメリカのFDA(国家食品医薬品局)で承認され、アイデアや実験の段階からグッと近づいてきました。他にも少なからぬ遺伝子治療のアイデアが出され、Disease modifying therapy(疾患修飾療法)と呼ばれる最新の医学知見に基づいた治療法で、今までは治療法がなかった病気を治して行こうとされています。また、iPS細胞などの再生医療も話題がいっぱいです。

神経難病や重心の医療の中にも、これらの先端的な治療法がやがては入ってくるでしょう。この病院も、そのような時点で対応できるような、頭脳と心構えも備えておかなければいけません。しっかり行きましょう。





## 国立病院総合医学会で「ベストポスター賞」を受賞しました

平成28年11月11日(金)・12日(土)の両日、沖縄県の沖縄コンベンションセンターにおいて第70回国立病院総合医学会が開催されました。この学会は、主に全国143病院ある国立病院機構と国立研究センター、ハンセン病療養所の病院が集まり毎年おこなっている学会です。今回は「医療構造の変化と国立病院機構に問われる役割一命(ぬち)ぐすい、温かい医療を広げよう」をテーマとして、当院からはポスター発表10題、口演発表2題の発表を行い、看護師 川合 有美さん、理学療法士 堤 恵志郎さん、児童指導員 和久田 怜さんの3名がベストポスター賞を受賞しました。受賞者のうち2名の職員より喜びのコメントをご紹介します。



お口の乾燥にはゴマ油を!!!「NIPPV(フェイスマスク)装着患者の口腔乾燥に対するゴマ油保湿の有効性」について発表させていただきました。日々、患者様の口腔ケアを行う中で口腔内汚染や乾燥は問題となっていました。今回ゴマ油を塗り乾燥改善ができました。発表時には、沢山の御意見やアドバイスをいただき、とても勉強になりました。また、ベストポスター賞をいただきとても嬉しく思います。今回の経験と研究結果を今後活かしていきたいと思ひます。



今回、「神経・筋難病におけるロボットスーツHALの使用経験」について発表させて頂きました。ロボットスーツHALとは、本人の意思に従って関節を動かすことの出来る治療用ロボットの事です。当院では2015年11月~2016年9月までの間、鈴鹿市福祉ロボット推進事業の一環としてHALを使用した歩行練習を実施させて頂きました。現在、事業は終了し、HALは返却していますが、期間中に6名の入院患者様に使用することが出来ました。このような賞を頂くことができ、ご協力頂いた患者様、また導入時の手続きやご指導いただいた院長先生、主治医の先生方、事務スタッフ、リハスタッフに感謝申し上げます。





# 第3回 筋ジストロフィー医療研究会を開催しました

平成28年10月14日(金)・15日(土)の両日、当院 小長谷正明病院長を大会長とする「第3回筋ジストロフィー医療研究会」を名古屋国際会議場にて開催しました。



小長谷大会長より開会あいさつ



ランチオンセミナーの様子



天候にも恵まれました



337名の方々に参加いただきました



小長谷大会長・久留臨床研究部長・  
南山第二神経内科医長のスリーショット



大会長講演

## 第3回 筋ジストロフィー医療研究会を終えて

名古屋国際会議場にて第3回筋ジストロフィー医療研究会を開催いたしました。337人も参加者があり、盛況のうち終わることができました。ここに厚く御礼申し上げます。筋ジストロフィー医療研究会も今回で第3回ですが、第1回の大会長を務められた国立病院機構東埼玉病院の川井充院長が9月に急逝され、故人に黙祷を捧げることから会が始まりました。大会長講演では当院の小長谷先生から、筋ジストロフィー医療の歴史から今後の展望までをわかりやすくお話いただきました。特別講演では名古屋大学の勝野教授から神経難病のトランスレーショナルリサーチについて講演をいただきました。また、ランチオンセミナーでは同志社大学の石浦章一先生、仙台徳洲会病院の大隅悦子先生の両先生よりご講演を聴くことができました。企画プログラムでは基礎医学から実地臨床や看護に関する様々なテーマを取り上げましたが、熱い議論が交わされ有意義なものとなりました。一般演題では、今回からベスト口演賞を設けて、各セッションから座長の先生に選んでいただくことにしたのですが

好評が得られました。

当会はもともと国立病院機構の中で筋ジスト病棟を有する施設の関係者を中心として設立されました。医者のみならず筋ジストロフィー診療に関係する様々な職種が集まって、研究発表や情報交換を行うことで筋ジストロフィー医療の質を向上させていくことを目的としています。国立病院機構に限定せず広く門戸を開いており、今回も全国の大学、一般病院や開業医の方々にも多数のご参加をいただき非常に心強く思った次第です。これを契機に診療や研究でのつながりが深まれば、より一層筋ジスト医療の発展が期待されるものと思います。第4回は10月13・14日に杜の都仙台で開催されます。今後ともよろしく申し上げます。



座長を務める久留臨床研究部長

臨床研究部長 久留 聡

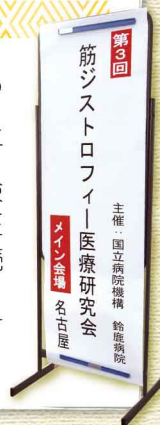
## ベスト口演賞をいただきました



言語聴覚士  
米田敏樹

今回「進行性筋ジストロフィー患者の最大舌圧と嚥下手技との関連について」という表題で発表しベスト口演賞を受賞することができました。嚥下機能は舌の運動機能と深く関係しており、今回、舌の運動機能を定量的に測定できる舌圧測定器を使い、嚥下手技(頸部を屈曲・回旋させ代償的に嚥下機能を向上させる方法)の有効性について検証しました。結果、嚥下手技を入れる前に比べ、嚥下手技を取り入れた方が、最大舌圧値が高くなることを認めました。今回の内容を踏まえて、今後も掘り下げて研究を継続していき、患者様の摂食・嚥下機能に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。

最後に、今回の発表をまとめるに当たりご協力・ご指導いただいた患者様・先生方に深く感謝致します。



## 第4回 日本筋ジストロフィー看護研究会を終えて

平成28年10月15日(土)に第4回日本筋ジストロフィー看護研究会が、名古屋国際会議場で開催されました。昨年度までは別に行っていた医療研究会と、初めて共催という形で行われたものです。医療研究会は、前日の14日から2日間の開催でした。2日間で336人(実数)の参加がありました。北は北海道から南は沖縄までの方が、遠路はるばる名古屋へ駆けつけて下さいました。更にうれしかったのは、演者・座長を除く一般参加者の中に、33名のNHO以外の方がいらしたことです。クリニックや在宅ステーションからの参加もありました。演題発表の申し込みは26件もあり、泣く泣く医療研究会での発表に回っていただいた方々には本当に申し訳ないことでした。午前中は2会場で計20例の研究発表があり、当院東1病棟の副看護師長名村誠子さんが、座長を務めてくれました。ただ申し訳なかったのは、会場の都合でC会場とD会場の広さにあまりにも差があったことです。D

会場はぎゅうぎゅう詰めで立って聴講される方もいらっしゃいました。本当にすみません…。ところが、D会場に参加された方から、「むしろ狭い会場の方が意見交換が活発だった」「狭いと安心感というか、親近感というか、とにかく落ち着くのかしら…」という声があり、ちょっと救われた思いがしました。午後からの看護交流集会「筋ジスの看護を語ろう」「筋ジスの研究しましょう」は、毎回とても好評ですが、今回も熱気溢れるディスカッションになったようです。筋ジス看護研究会の役員は7名(NHOの看護部長4名、その他3名)ですが、皆さんからお褒めの言葉をいただき肩の荷を下ろしました。

最後に、共催という形式を取って様々なご配慮をいただいた鈴鹿病院の小長谷院長先生はじめ企画運営に当たられた全ての方に感謝します。

看護部長 星山明代



# 看護部だより

看護師 臼井友香理



## ◆◆◆◆◆ 外来診療棟の取り組み ◆◆◆◆◆

「病院」に対して“暗い・痛い・怖い・不安”といったマイナスイメージを持たれている方が多いのではないのでしょうか。当院の外来では患者さんに気持ちよく受診していただけるよう、明るく心和む環境作りや、穏やかで安心できる対応を大切にしています。

当院の広々とした外来の空間は、ややもすると冷たい印象を与えてしまいそうですので、季節を感じてほっこりしていただけるよう、冬はクリスマスツリーや雪だるま・サンタクロースのウィンドステッカー、お正月の門松や鏡餅、春は桜、夏には七夕飾りや花火、秋はハロウィンなど四季折々の装飾をしています。看護部と事務職員等で患者さんに楽しんでもらいたい、患者さんに居心地の良い空間を作りたいという思いで行っています。飾り物を目にして「これ綺麗ね」「これどうなっているのだろう」「季節が変わったのね」とお話できることがとても嬉しいです。

外来は鍵谷師長・足立看護師・臼井の3人の看護師と龍野歯科衛生士で運営しています。チームワークはばっちり、毎日気持ちよく勤務していますので、自然に患者さんやご家族とも穏やかに話してできていると思います。患者さんやご家族が不安に思っていること・困っていること・先生に直接は言いにくいけれど伝えたいことなどを気軽に話していただけるよう、声かけを大切にしています。笑顔を忘れず、しっかりお話を聞き、気持ちを理解する



受付の前には鏡餅



サンタのステッカーが彩ります



正面玄関には大きなツリー

ことで良い人間関係を形成し、更に信頼していただけるようになりたいと頑張っています。

鈴鹿病院の外来が、「明るく受診しやすい」と言われ、患者さんやご家族に安心して来院していただけるよう、これからも力を合わせて努めていきたいと思っております。

認知症予防におすすめ料理 **野菜たっぷりキーマカレー**

10月26日に中央病棟3階プレイルームにて「第15回生き生き健康講座」を開講しました。当日は地域住民の方など55名程の皆さまにご参加いただきました。

第一部では南山神経内科第二医長による「認知症の治療」、第二部では若杉薬剤師による「おくすり手帳のはなし」、第三部では星山看護部長による「いざというときの家庭での応急対応」について講演を行いました。また、開講の前後には当院栄養管理室考案のキーマカレーが来場者の皆さまにふるまわれました。最近、カレーに含まれるスパイスや野菜類には認知症を予防する効果があることが分かってきています。

今回は当院栄養管理室考案のキーマカレーの作り方ををご紹介しますので是非お役立てください。



大豆に含まれるレシチンは脳細胞を構成する重要な成分で、トマトやじゃが芋に含まれるガンマアミノ酪酸(GABA)は脳機能を改善する効果があるとされています。

～材料2人分～

あ 1 カレー 371kcal 塩分1.5g  
た 人 ターメリックライス (200g)  
り 前 378kcal 塩分0.3g



豚ひき肉 … 120g  
大豆水煮 … 60g  
玉葱 … 小1/2個(約80g)  
トマト … 小2個(約240g)  
じゃが芋 … 小1個(約60g)  
茄子 … 中1/2本(約50g)  
オリーブ油 … 小さじ1  
カレールウ … 2～3片(約40g)

※ガラムマサラ … お好みで  
A [ターメリック(粉末) … 小さじ1  
バター … 10g

米 … 2合

※ガラムマサラ…混合香辛料A



～作り方～



- ① 米をといで、目盛通りの水をいれ、Aを混ぜ入れて炊く。
- ② 玉葱はみじん切り、トマト・じゃが芋・茄子は1cm角に切る。大豆はすり棒などで荒くつぶす。
- ③ 鍋にオリーブ油を引き、豚ひき肉を炒め火がとおったら、玉葱を入れ炒める。そして、じゃが芋、茄子を入れ炒める。
- ④ ③に水1/2カップ(100ml)を入れ、トマト、大豆水煮を入れる。10分程煮込む。
- ⑤ カレールウ、ガラムマサラを入れてさらに弱火で30分程煮込む。
- ⑥ 器にご飯、カレーを盛り付ける。



地域医療連携室だより



当院は患者さま相談窓口を設置しております

当院では、患者さんに対する支援の充実を図るよう努めております。そこで、患者さんの様々な疑問、苦情等(安全、人権、権利、利益を擁護すること)をお申し出いただけるように、患者さん相談窓口を設置しております。個々のケースに合わせて状況判断しながら適切に対応し、患者さんが納得できる医療を提供していきたくと考えております。概要は下記のとおりとなっております。

■相談内容

診療・治療に関する心配事、医療安全、介護保険、在宅医療や入院・転院、治療費のお支払い等についてのご相談を承ります。

■相談方法

来室、電話、郵送、FAX等でも結構です。

■受付窓口

鈴鹿病院 外来診療棟1階 医療福祉相談室

■受付時間 平日 8:30～17:15

なお、受付担当が他の患者さんのご相談で、席を外している場合もございます。その場合は、お待ちいただくか、次回相談予約をおとりいたしますのでよろしくお願い致します。

- 安全面等の相談につきましては医療安全の担当者が対応します。
- 相談内容については秘密を厳守します。
- 相談されたことにより、不利益を受けることはありません。
- 受診時、入院中に各部署へのご意見・苦情等ございましたら窓口担当がお話を伺います。窓口対応の後、各部署に連絡し対応させていただきます。

どうぞお気軽にご相談ください





東西1階病棟が合同で12月7日に、東2階病棟が11月25日に「クリスマス会」を行いました。西2階病棟は11月30日に「冬のお楽しみ会」と称し、冬のイベントを行いました。各病棟、趣向を凝らした内容となり、患者さんやご家族からも「楽しかった」「また、してほしい!」「みんなですると楽しいね」等と感想をいただき、とても素敵な時間を共有できたように思います。今後も療育指導室は「患者様第一」で、さまざまな企画を計画したいと思います。お楽しみに!



## 平成28年度 院内成人式が開催されました

1月18日に平成28年度院内成人式が開催されました。今年度は1名の患者さんが新成人となり式典に臨まれました。病院長をはじめとする病院幹部職員や新成人の出身校である特別支援学校の先生方を来賓として招き、お祝いの挨拶とともに激励の言葉をいただきました。

昨年最下位に沈んだドラゴンズにとって、数少ない収穫は堂上直倫のレギュラー定着であろう。堂上はハンカチ世代(今やマー君世代というべきか?)で、同級生には各球団の中心選手が多い。なかでも、昨年首位打者を獲得した同じ遊撃手の坂本勇人が、堂上を獲れなかった巨人の外れ一位であったことは有名な話である。兄の剛裕は外野手としてドラゴンズに入団したが芽が出ずに戦力外となり巨人に移籍している。父親の照も元ドラゴンズの投手で後に寮長まで務めている。筆者の世代でドラゴンズの背番号13と言えば堂上照を思い浮かべる方も多いだろう。その息子ということでも早くから注目され、中学生時代にはファン感謝デーで川上憲伸からホームランを打つなど大器の片鱗をみせ、名門愛工大名電に進んで甲子園出場を果たし一躍スター候補生となった。プロ入り後は随分と

苦悩の日々が続いたが、ようやく昨年になって打力が向上して出場機会が増加した。巨人戦に強いのも魅力である。なにより彼の守備は一級品である。昨シーズン後半にルーキーの阿部がショートを守ることがあったが、直倫と比べると明らかに見劣りしてしまう。素人の僕がみても、打球を捕ってから送球するまでの動作に無駄がなく非常に素早い。また、二塁手の荒木が二遊間へ飛んだ打球をぎりぎりでおさえ、捕球体制が悪いため一旦ショートの直倫にトスし、それを受けた直倫が矢のような送球でバッテリーを一塁で刺すという華麗なコンビプレーを昨年はみることもできた。言うまでもなく、往年の荒木、井端のいわゆるアライバコンビが得意としたプレーの再現である。長く低迷するチームの再浮上の鍵は直倫が握っているといっても過言ではない。頑張れ直倫!

平成オタクコラレ  
プロ野球編②

臨床研究部長 久留 聡

## ◆ 外来診察担当表 (2017年1月1日現在)

	月	火	水	木	金
神 経 内 科	小 長 谷	酒 井 木 村	久 留 南 山	小 長 谷	久 留
内 科	野 口	内科医師	安 間 (循環器内科)	安 間 (循環器内科)	棚 橋 (循環器内科)
小 児 科		予 約			予 約
整 形 外 科		田 中 (装具外来)			田 中
リハビリテーション科					田 中
皮 膚 科		予 約			
歯 科	留 奥	加 藤 (午後)		永 田 (午後)	
禁 煙 外 来	野 口			安 間	

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越してください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

## ◆ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩8分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車8分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス 椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



## ◆ 編集後記

毎年冬になると、鈴鹿病院も駐車場にイルミネーションが点灯し、外来には大きなツリー、正月には門松と鏡餅などが飾られます。飾りの前では写真を撮る姿も見られ、皆さんから「きれい！」などたくさんのお言葉も頂きます。イルミネーションアワードで毎年1・2位を争う「なばなの里」にはかないませんが、病院の中で少しでもホッとする場となっているのではないのでしょうか。

「鈴鹿の風」編集委員会では、巻頭写真等を募集しています。地域医療連携室までお気軽にお問い合わせください。

地域医療連携係長 岡 祥子